

「演説の終わり方」

～ 阿部竹松先生の講義で学んだこと ～

平成 25 年 5 月 11 日

0008 大森康二郎

- ・ 「出だし」と「結び」のパターンをつくる
- ・ 「真ん中」は後付けで良い
- ・ 出だしに結論を含め、真ん中には理由付け
- ・ 出だしは鳥居で、真ん中は玉砂利であり川、結びは山である
- ・ 最初と最後を決めておく。真ん中は後で考えれば良い
- ・ 聴衆を巻き込む → 共感を得る
- ・ 光景が浮かぶような内容が理想（酒向さんの演説が手本）
- ・ 聴衆を安心させる・・・笑いなどを混ぜる
- ・ 余韻を持たせる・・・？
- ・ 政治家のしゃべり方・・・断言すること
- ・ 身近な話題を出すこと・・・入りやすい
- ・

*習得すべき課題

- ① 光景の浮かぶような話題提供と表現法
- ② 聴衆を巻き込む問題提示（身近な話題を考える）
- ③ 場に応じて組み立てる・・・出だしと結びを練る

*疑問

- ① 「余韻を持たせる」・・・あまりよく呑み込めなかった
- ② 「みなさんはどうお考えでしょうか？」などと疑問を投げかける終わり方は、個人的には好まないがどうなのか？
- ③ “演台” を使って練習させていただきたい

聴衆を引き込む演説は、事前の準備が重要。同時に、場に応じて構成を組み立てる構想力を養成しなければならない。経験を積んで磨いていきたい。